

①ライフステージにおける課題と援助（資料参照）

- 学童期～ 自分でできることはさせる。支援をすこしずつ減らす。スキンシップについて考える時期
思春期～ 支援を少なくする。
成人期～ 出来る事をさせる。
高齢期～ 出来ていたことができなくなってくる。子供の状況によってかかわりが多くなってくる。
→親も老いてくる→かかわる人が変わってくる

②思春期とは

☆子供から大人への脱皮の時期

- ・障がいの有無に関わらず大人になる
- ・自分を出したいという気持ちが大きくなっていく 自分をアピールしたい
→思い通りにならない→攻撃的になる→不安定になる
- ・障がいの特性が以前よりひどくなることもある
- ・大人の体つきになる→自分の体が変わることへの不安 見た目が変わるだけでなく、周りの人も違う目で見られるようになるのでそのことへの不安

☆個人差

- ・小3ぐらいから気付く子もある 中学生、高校生になって体が大きくなっても心が幼い子もいる
見た目は幼くても心の中は大人のようになっている子もいる
表面的に出ない子もいる→いつで出てくるかわからないので内面的な部分も見

☆二次性徴

- ・二次性徴＝思春期とらえてもよいくらい
- ・脳内からいろんなところに刺激がいく
- ・今までなかったことに不安がおこる→イライラ、ムラムラしてくる
- ・異性に対して気持ちが変わってくる→好きだ、触れてみたい、かかわってみたい

③学童期～思春期の対応

- 家族・・・大人として接していくことが大前提 家族で共通理解しておく必要がある
甘える事がだめという事ではない 家族で役割分担を決める
学校・・・かかわりの役割分担について担任が話し合っておく必要がある
いきなり態度を変えると不安になるので早い時期から始める
スキンシップの取り方を考えていく時期 直接触れるところを減らす

家ではいいけど外ではダメといくのは難しい
異性の親、異性の兄弟姉妹とのスキンシップも考える
不安になっている時はなるべく言葉で聞く

おふろについて・・・一緒にいった時に洗う順番を決めて練習しておく覚えやすい

大きくなってきたら同性の人と入るのが望ましい 子供の年齢が大きくなってきたら
介助者（異性）は体をかくす 同性同士は逆に体を見せて体の変化を教える

☆ 状況把握と適切なアプローチ

- ・どこで、どういう時に今までと違う態度を取るのか見ていくことが大事である
- ・本当に思春期からくるものなのかどうかの見きわめ
→体の具合は悪くないか、睡眠はとれているか、環境の変化があるか

アプローチ

- ・あわてず、あせらず、あきらめないでかかわっていくことが大事
- ・事業所のヘルパーにも伝えておく
- ・部屋を与えるなど自分の居場所を作る
- ・テレビ、雑誌など気になりそうな物はさらっと隠し、刺激を避ける
- ・しっかり眠る事が大切 何日も眠れないときは導眠剤を使うのもよい
- ・自傷他傷・・・危険なものはよけておく 目の前で見た時はその場で注意 場面を変える

☆性についての正しい理解と援助

- ・誰もが通る道である
- ・性的なことについては同性がかかわった方がよい
- ・男女のことなど集団での事は学校で対応してもらう
- ・自慰行為・・・自然なものである

快樂なのか痒みかの見きわめ→すぐにその行為ととらえない、清潔にする

男の子・・・場所、頻度、清潔にする事を教える

外ではダメということをしっかり教える

体をしっかり作る 他の物に転嫁させる

女の子・・・清潔にする 痒み、違和感はないか 外ではダメということを教える

生理について・・・処理の仕方を教えておく 生理が始まる前からナプキンに慣れておくなど対応しておく 病気でもけがでもない事を解らなくても話す

男女交際について・・・その場で触ることなどの程度を教える

軽度の人の場合、結婚したいと思う様になることもある。頭ごなしにダメではなく

自分の事を好きになってもらえるように努力することを教える

☆連携

薬をうまく使う 薬についての不安は医者伝える

○質問

- ・ 自我、自主性が芽生えてきていて出来ないのに自分でやりたがるがうまくいかずイライラする
→スモールステップを作ってひとつずつ段階を踏む
- ・ ゲームにはまって熱中する
→はまってからやめさせるのは難しい。無理に取り上げると他に影響が出るのでタイマー等使って時間を決めるなど約束事を決める。ゲームをやめた後に何をするか決める。
- ・ (小5女) 今年に入ってからおもらしをするようになった。接触過敏になってきてウエストまわりを気にしてはいているものをずらすようになった。ワンピースを着せてもめくる。イライラしている。
→過敏になっているのではないか。まずは皮膚科に行ってみる。感覚が過敏になっているかもしれないので精神科に行ってみて薬がないか相談してみてもどうか。ダメというとならストレスになるのでひとりになれる場所を作ってそこでさせてみては？時期がきたらピタッとやめることもある。
- ・ (中1男 ダウン症 ひとりっこ) 小5から一人で寝ているが最近午前3～4時ごろ母親の布団にはいってくるようになった。いつもぬいぐるみを抱いて寝ている。幼く見えるが体は確実に変化している。
ほったらかしていると頭？を打ち付けたりするなどの自傷行為がある。スキンシップを求めたがるがどのようにすればよいか？
→支援学校に入学し、環境が変わったので不安な状況にあると思う。支援学校の先生は普通の学校の先生よりスキンシップが多いと思う。スキンシップのあり方を学校に相談してはどうか。スキンシップの度を超えている時は握手等を教える。ぬいぐるみ以外に興味を持つ物を増やしてみる。
- ・ (小5男 二階堂養護) 年を取っていく上で自慰行為が全くないという話も聞くがどうなのか？
→あまり聞かないが・・・ない方がいいと思いがちだがたいていはあると思われる。

○思春期はいつか来るとしておく

いろんな人に相談するなどして内にこもらないようにする